

# 令和3年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	16	学校名	桜井高等学校
----	----	-----	--------

## 1. 事業内容について

取組・活動・事業名等	「つくる つなげる とどける」地域の方々から学ぶ ～子育て支援「つどいの広場・ドレミの広場」～
教育課程上の位置付け・ 目標又は活動のねらい	普通科3年生選択科目「子どもの発達と保育」（選択者10名） における実習授業として実施。子どもや保護者との交流を通し て、子育ての楽しさ、生命や家族の大切さについて理解を深める。
連携・協働相手	桜井市福祉保健部けんこう増進課
地域と共有している 目標・課題等	地域における子育て支援、保育士・幼稚園教諭を目指す生徒の 育成、高校生と子どもや保護者との交流
取組・活動の内容（生徒の主体性、具体的活動、連携・協働内容など）	
保育士・幼稚園教諭を目指す高校生が、桜井市が主催する子育て支援事業「つどいの広 場・ドレミの広場」に参加し、事前に制作したエプロンシアターや手遊びを子どもたちと 一緒に楽しみ、将来への展望や今後の課題を見つける。	

## 2. 事業の成果と課題

地域の方々との交流は、高校生にとって大変貴重な経験であり、授業等で学校の教員が指導することに加え、知識や技術の定着もさることながら、社会性・自主性の育成に大変効果があると考えられる。今年度もコロナ禍の中であったが、連携・協働相手と何度も協議を重ねて、生徒にも地域の方にも安全な方法を取りながら実施した。

今後も来年度設置される学校運営協議会の機能を十分に活かして、地域の活性化と生徒自身の成長促進の相乗効果を得られる取組を進めていく。

### 【生徒の感想】

- はじめての参加ではじめは緊張したが、子どもたちとふれあっているうちに緊張もほぐれ、とても楽しかった。
- 将来、保育にかかわる仕事をしたいと思っているので、とても貴重な体験をさせていただいた。
- このような場所があることは、子どもにとっても保護者にとっても大切なんだということを知らせていただき、勉強になった。

